

THE BOOK REVIEW PRESS

# 図書新聞

3359号

〒189-0075東京都新宿区高田馬場3-13-1  
電話03(5937)3918 FAX03(5937)3919  
購読料(税込)14,480円/200部  
半年26,240円(税別) 郵費00150-2-613461  
http://toshoshimbun.jp

定価 260円  
(本体241円)

発行 武久出版㈱

齊藤日出治 著  
グローバル資本主義の  
破局にどう立ち向かうか  
市場から連帯へ  
4・10判 A5判130頁 本体900円  
発行：河合文化教育研究所  
発売：河合出版



グローバル主義という考え  
方、あるいはグローバルサイ  
ションという現象がいわれ  
て、二十年以上の時間が経過  
したことになる。ポスト冷戦  
期に入って強大な「国家間」の  
確執の終焉とともに到来した  
かのよみない環境を超えた多様  
な波動は、ある種の理想世界  
がかざりつらもちつらくかの  
ように歓迎されていくこと  
を、わたしたちは忘れては  
ならない。しかし、やがて  
アンチ・グローバル主義を掲  
げた一九九九年のシアトル暴  
動を契機として、ネーリン・ハ  
ート「帝国」(二〇〇〇年)  
の刊行を境に、グローバル  
△は、あまたな帝国主義的な  
様態とあまたが切開かれて  
いく。

## 連帯と協働をとりもどす

「画一化され一元化され」ていくことだけは、  
否と大きな声でいうべきではないだろうか

植田 隆

本書の著者、グローバル  
ゼーションを「国家という任  
切りを越えた」ショッペン  
グ・モール」のような「民間  
が広がって」る過程を意味し

するとして、次のように述べ  
ていく。「略」商品やモノ物を市  
場で売買する関係によって組  
織されるようになります。世  
界中のひとびとの日常生活が  
商品によって画一化され一元  
化されます。(略)しかし、  
このグローバルゼーションが  
じじはわたしたちの暮らして  
生存を脅かし、破壊する暴力  
の源泉となりつつあります。た  
いに気づくようになりません」。

「グローバルゼーションの時  
代とは、民間資産をたくさん  
保有している人が所得をすす  
すす増やす社会である。民間  
資産を相続するひとが富を有  
利に増やすので、ますます世襲  
財産社会へと移行していきな  
っていくのです」。「市場のそ  
して貨幣が命の命のシロー  
ハリゼーションは、(略)の  
く少数の富裕層が巨額の富を  
築き、多くのひとびとが貧困  
に陥る不平等な格差社会を  
「見えない」わが国の

いいた気がする。利便性を  
追求するほど自己、否定する  
わけではないが、「世界中の  
ひとびとの日常生活が商品で  
よって画一化され一元化さ  
れ」ていくことだけは、否と  
大きな声でいうべきではな  
いだろうか。

(評論家)

「国家とは、権力を何にか  
らうたえようとする人間  
の集まり。つまり一見、マナー  
な現存がみえるが、これま  
での国家も権力とは異なる超  
国家も超権力もたつたものが  
至るところに潜んでいくこと  
を見出すべきなのだ」。

「わたしたちが選ぶべき道  
は、国家を超えてあふれる  
社会や、市場や、国家を  
任せることだ。わたしたち  
の日々の暮らしては連帯と協働  
をとりもどして、よって組  
織しなければならぬ。この  
道は、じじはわたしたちが多様  
なわたしたちが開かれてくるの  
だ」。